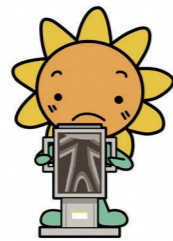


がん検診の受診率は43%



男性の30歳代、40歳代は、女性、他の年代と比較して受診率が低くなりました。

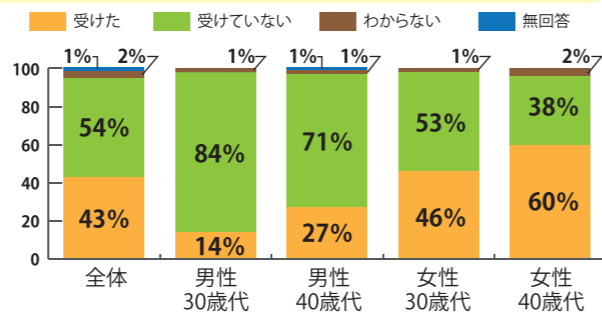
また80歳以上を除く全ての世代で、男性に比べて女性の受診率が上回っており、女性の方ががん検診への関心が高い傾向にあります。



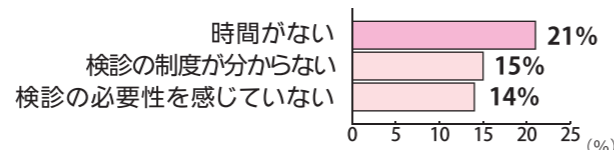
港南区ウォーキングキャラクター ひまわりくん

男性40～50歳代、女性30～50歳代では「時間がない」という理由が多く、男性10～40歳代、女性10～30歳代では「検診の制度がわからない」が多い結果となりました。

Q.平成29年度から平成30年度にがん検診を受けましたか?



Q.がん検診を受けなかった理由は何ですか? (複数回答)



がん検診について

がんは長い間、脳血管疾患、心臓病とともに、三大死因の一角を占めており、生涯、2人に1人は何らかのがんになるとも言われています。がん検診のメリットには早期発見・早期治療によるがん死亡の減少が挙げられます。がんの早期発見のためには、「症状が出てから」ではなく「症状が出るより前」に検査を受ける必要があります。症状が出ていないからといって油断をせず、定期的ながん検診を受けることが大切です。

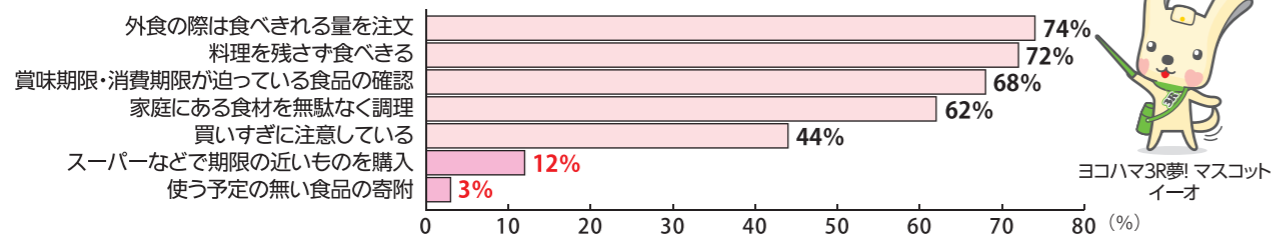
横浜市がん検診 [Q 検索](#)

日常生活の中で取り組みやすい項目は 高い割合で実践

日常生活の中で取り組みやすい項目が上位になりました。

一方、食品を必要とするところへ寄付するなど食品ロス削減にむけた新しい活動(フードライブ活動)については、取り組む割合が低い結果となりました。

Q.食品ロス削減の取組のうち、現在行っているものは何ですか? (複数回答)



ヨコハマ3R夢! マスコット イーオ

食品ロス削減の動き(フードライブ)

フードライブ活動は家庭等で余っている食品を、食べ物に困っている人や施設に届ける活動です。まだ食べられるのに廃棄されてしまう食品を活用することで、食品ロスを削減し、食品を通じた社会貢献につながる取組になります。家庭等で消費できない食品は、フードバンク団体等に寄附を行い、食糧支援につなげましょう。

横浜市フードライブ [Q 検索](#)

へら星人 ミーオ

● 詳細な報告書は、区ホームページや区役所1階区政情報コーナー、区内地区センター、地域ケアプラサ、コミュニティハウスにてご覧いただけます。

【区民意識調査URL】 <https://www.city.yokohama.lg.jp/konan/kusei/kocho/ishiki.html>

● 小数点以下を四捨五入しているため、グラフの合計が100%にならない場合があります。

発行日: 令和2年1月
発行: 港南区総務部 区政推進課企画調整係 〒233-0003 横浜市港南区港南四丁目2番10号
電話: 045-847-8328 FAX: 045-841-7030



愛あふれる♡ふるさと港南に

令和元年度 港南区区民意識調査結果 (概要版)

港南区役所では、区民の皆様のご意見を生かした区政運営をすすめるため、区民意識調査を隔年で実施しています。今回は、生活環境や地域活動のほか、防災や健康づくりに対する意識や行動、区に取り組んでほしいこと等をお尋ねし、多くの区民の皆様から回答をいただきました。

調査概要

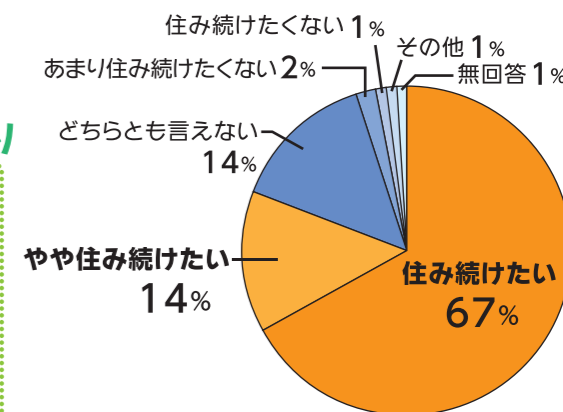
- 調査対象: 港南区区内にお住いの18歳以上の方4,000人(40人の外国籍区民含む)
- 抽出方法: 住民基本台帳等から無作為抽出
- 回収数等: 2,145票(回収率53.6%)
- 調査期間: 令和元年5月15日～6月17日
- 調査方法: 郵送による配布・回収 ※回収は電子申請・届出サービスも併用

1 定住意向

港南区に住み続けたいと思っている方が8割を超える

前回調査(平成29年度)に続き、「住み続けたい」と「やや住み続けたい」の回答の合計が81%に上り、多くの方に暮らしやすいと感じていただいています。

Q.これからも港南区に住み続けたいと思いますか?



住んでいる地域生活環境に対する評価の高まり

住んでいる生活環境に対する調査では、皆様の日常生活の満足度を図るため「まちなみ・環境」「福祉・保健」「教育・文化」「生活」の分野について、それぞれ生活のしやすさという視点から確認しています。全21項目中18項目が前回調査と比較して同等の評価もしくは高評価であり、全般的に住んでいる地域への評価が高まっています。

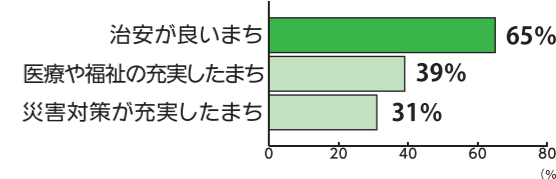
2 区の将来像

安全・安心に暮らせるまちを望む声が上位を占める

区の将来像の上位3項目は平成25年度調査以降今回まで変化がありません。

多くの方が港南区に「住み続けたい」と考えていることもあり、安全・安心に暮らせるまちづくりを求める声が多く寄せられました。

Q.港南区が将来に向けてどのような方向に発展していくことが望ましいと思いますか? (3つまで:複数回答)



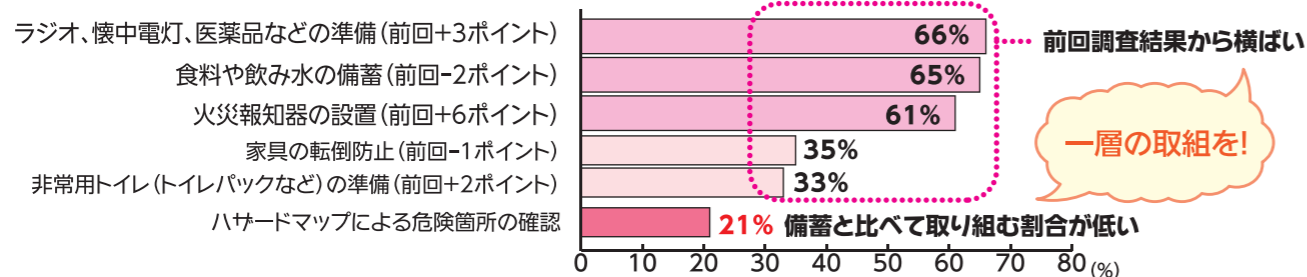
関心がある・充実させてほしい情報

区役所から発信される情報のうち、関心のある情報や充実させてほしい情報は「防災・防犯に関する情報」が前回比+3%となる56%で最多でした。この項目は、調査開始以降割合が増えており、安全・安心に暮らせるまちへの関心が高まっていることが読み取れます。

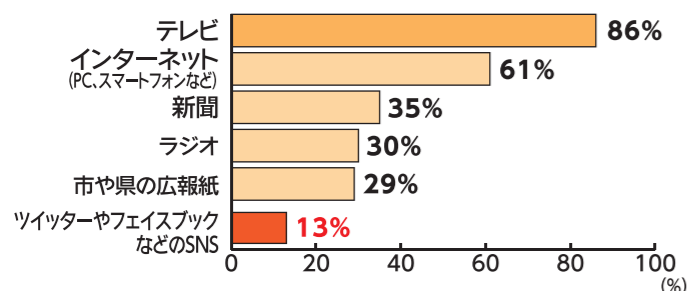
続いて、健康・医療に関する情報(50%)、福祉サービスに関する情報(31%)となりました。

家庭での災害対策への取組状況

Q.あなたの家では、災害に備えてどのような対策をとっていますか？(複数回答)



Q.普段、防災に関する情報を入手したい時に、主に何から入手していますか？(複数回答)



防災に関する情報の入手手段としては、テレビが圧倒的に多数を占めました。年代別では、テレビやラジオは年代が上がるほど割合が高くなり、インターネットは年代が下がるほど高くなる傾向です。また、ツイッターやフェイスブックなどのSNSは、10~20歳代で2人に1人程度が情報の入手手段としています。

防災情報の積極的な活用について

住民の皆さんが災害(水害・土砂災害)発生の危険度を直感的に理解し、的確に避難行動ができるようになるため、避難に関する情報や取るべき行動を5段階の『警戒レベル』を用いてお伝えしています。避難勧告(警戒レベル4)や避難準備・高齢者等避難開始(警戒レベル3)等が発令された際には「自らの命は自らが守る」という意識を持って、安全な避難場所への避難(水平避難)や堅牢な高い建物への避難(垂直避難)等、適切な避難行動をとるよう心がけましょう。

[内閣府警戒レベル](#) 🔍 検索

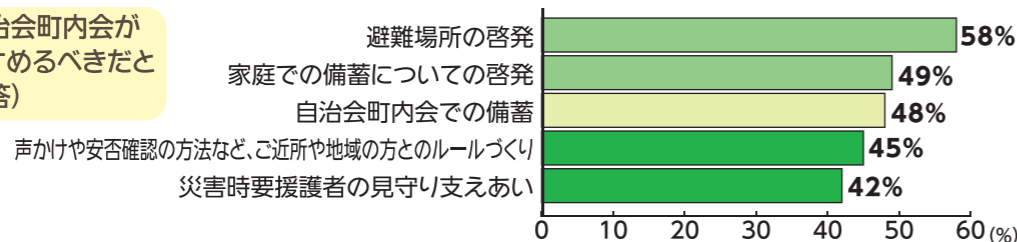
また、日頃から『ハザードマップ』を見て水害や土砂災害の危険箇所や、避難経路等を確認するなど災害に備えることも大切です。ハザードマップは区役所で配布しているほか、区ホームページからも閲覧ができます。

[港南区ハザードマップ](#) 🔍 検索

災害時の共助を進めるべきとの声が多数に上る

「避難場所、家庭での備蓄についての啓発」等につき、「声かけや安全確認の方法など、ご近所や地域の方とのルールづくり」(45%)や「災害時要援護者の見守り支えあい」(42%)を求める声が多く寄せられており、災害時の共助が自治会町内会で進めるべき取組と考えられています。

Q.災害に備え、今後、自治会町内会がどのような取組をすすめるべきだと思いますか？(複数回答)

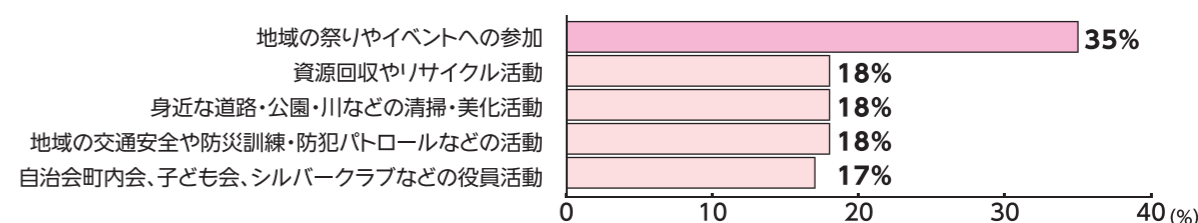


声かけ・安全確認などのルールづくりについて

災害時には、自宅から避難したり、様々な情報を集めることに支援を必要とする方々がいます。いざという時に身近な地域の中で助け合えるよう、「要援護者の名簿を自治会で作成し、災害時に声かけをする担当を決めた」「無事を知らせるサインとして、玄関に掲示するタスキを町内会で購入し、各家庭に配った」など、自治会町内会が中心となったルールづくりが進んでいます。

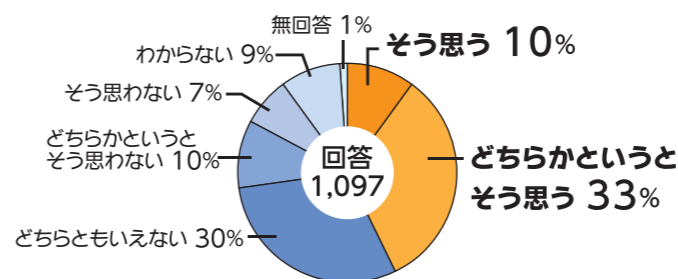
地域活動への参加は、お互いに支え合うつながりづくりへの第一歩

Q.あなたは、お住まいの地域で、この1~2年の間に次のような活動をしましたか？(複数回答)

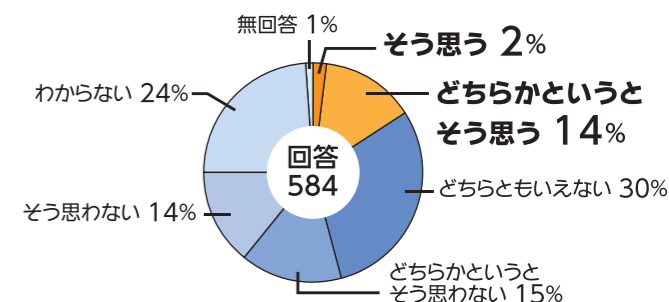


Q.困ったときにはお互い支え合う地域でのつながりがありますか？

地域活動参加者の回答



地域活動不参加者の回答

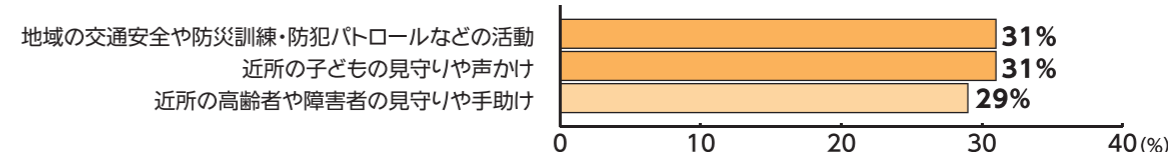


地域活動に参加している方は、参加経験の無い方より、困ったときにお互い支え合う地域のつながりを感じている傾向にあります。

ご近所はイサという時あなたを支える身近な仲間 自治会町内会の活動は「みなさんをつなぐ」役割をしています

自治会町内会は、その地域に暮らす人たちが集い・話し合い・協力しながら、安全で安心して暮らせるまちづくりを目指して、自主的に活動している組織です。災害時に備えた防災用品の備蓄や、防災訓練の実施など、「イサという時」のための活動に力を入れ、日頃から地域の中で親睦を深め、助け合える「絆」を育てています。

Q.今後、地域の中でより充実させていくべき、重要度が高いと考える地域活動はどれですか？(複数回答)



充実すべき、重要度が高いと考える活動は、防災・防犯の取組、子どもや高齢者・障害者の見守りや手助けが上位を占め、地域の安全・安心に対する地域活動の役割が期待されています。

誰もが安心して生活できるまちへ～地域の皆で助け合いの地域づくりを進める～

港南ひまわり83運動

港南ひまわり83運動は、「小学生が登下校する時間帯(8時と3時)を目安に、散歩や庭先の掃除、買い物など外での用事を行い、地域全体で子どもたちを見守ろう」という活動で、地域に徐々に広がっています。



見守り協力事業者

ふだんの暮らしの中で「あいさつ」や「声かけ」をきっかけに、事業者の皆さんにも、ゆるやかな見守りに協力していただいています。



[港南区見守り協力事業者](#) 🔍 検索